

イルカ通信



隔月1回発行
PDF版は無料でダウンロードできます
(下記参照)

小笠原ホエールウォッチング協会 (OWA) 2006年10月1日 No. 014

小笠原で暮らすイルカたち

「聳島列島に移動中?のイルカを発見!」

父島列島と聳島列島間を移動中のミナミハンドウイルカたちが発見されることは滅多にありませんが、イルカ調査隊では、6月29日に、弟島—嫁島を結ぶ中間地点よりも数km程度嫁島側の海域で、22頭のミナミハンドウイルカの群れに遭遇しました。群れは嫁島方向に泳いでいました。この群れには、コブちゃん(#4)やおちょぼ口(#41)等、父島海域で顔なじみのイルカたちが16頭いました。聳島列島でのみ発見されている1頭もいました。

また、7月21日には聳島列島間のミナミハンドウイルカの移動も確認しました。11時45分頃嫁島で確認したイルカたちを、13時15分頃に再び聳島で確認、約1時間30分で嫁島—聳島間の20kmを移動したことになります。



6月29日、弟島—嫁島間で発見されたコブちゃん(#4)

「#69の移動と出産」



7月5日に発見された#69(右)と新生児(左)。その後新生児は行方不明に。

個体識別番号#69はメスのミナミハンドウイルカです。昨年(2005年)の9月7日に母島の鰭根付近で発見されました。その後、父島海域での発見が3回続いたのですが、今年(2006年)の9月7日に#69を同じ鰭根付近で発見しました。少なくとも母島・父島両方の周辺海域を利用していることは確かなようです。

また、#69が今年7月5日に新生児を連れているのを発見しています。恐らく#69が出産したものと思われます。しかし、9月7日の確認では、子供を連れていませんでした。イルカガイドさんの話では新生児が確認されてまもなく、行方不明になったとのこと。今、#69は何を想い、小笠原の海で暮らしているのでしょうか?

好評につき開催期日延長!! 10月22日まで

「あぞいてみよう!イルカあそび場」

イルカのウンチはどんな形?乳首はどんなふうにかくれているのかな?いろんな疑問がわかりやすく紹介されています。



場所・小笠原ビジターセンター
問合せ・2-3001
おがさわら丸入港中開館
AM8:00~PM5:00

ドルフィンウォッチング&スイム

自主ルールの実施状況観察

OWAではこの夏、ドルフィンウォッチング&スイムの自主ルール(事業者を中心に策定)の実施状況観察を行いました。その結果、自主ルールはおおむね守られていましたが、イルカへの配慮とツアー参加者の安全面の向上にはさらなる工夫が必要であることが分かりました。OWAでは今後も、イルカの生態研究や自主ルールの実施状況観察を続けていきます。

小笠原ホエールウォッチング協会
〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町

URL <http://www.ogasawara.or.jp/owa>

Tel 04998-2-3215 e-mail owa@h6.dion.ne.jp